

マイコン式3合炊き炊飯器 KH-SK500 取扱説明書

Ver 1.00



- この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取扱い説明書をよく読み、ご理解した上でご使用ください。
- 取扱説明書及び、保証書は大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

目次

1.はじめに

安全上の注意2
本製品使用上の警告と注意3
電源・電源コード使用上の警告4

2.外観説明

外観と仕様5
-------	--------

3.使い方

お米の計量について6
ご使用する前の準備7
メニュー選択8

4.メンテナンス

お手入れの仕方13
---------	---------

5.困ったとき

故障かな?と思ったとき15
-------------	---------

保証書

.....	未巻
-------	----

1.はじめに

安全上の注意

記載内容を守っていただけない場合どの程度影響があるかを表しています。



警告

『死亡または重傷を負うおそれがある』内容を示します。



注意

『人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生』が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



一般禁止

その行為を禁止します。



火気禁止

外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。



接触禁止

特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。



分解禁止

分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水にぬらすことをなどしない。
漏電による感電や発火の可能性を示します。



ぬれ手禁止

*ぬれた手で電源プラグ抜き差しをしない。
*ぬれた手で電源スイッチを触らない。感電や事故の原因

傷害や事故の発生を防止する禁止事項は、次のマークで表しています。



使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。



電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

本製品使用上の警告と注意



警告



- 煙や異臭・異常な音・手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・やけど・感電の恐れがあります。



- 雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しをおこなわないでください。落雷による感電の恐れがあります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止してください。
- すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検・修理をご依頼ください。
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、異音や異常な振動する。
- ビニール袋などの梱包材料はお子さまや乳幼児の手の届かない安全な所へ保管してください。窒息事故などを起こす恐れがあります。



- 本機を改造・分解しないでください。感電・発煙・発火の原因になります。



- 本製品を火中に投入・加熱あるいは端子をショートさせたりしないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。



- 高温部分に触れない。内なべ、水蒸気噴出口など高温部に使用中、使用後は触れないでください。やけどの原因になります。



- 子供だけで使用しないでください。乳幼児の手の届く所で使用・保管をしないでください。感電や怪我、小さな部品を誤って飲み込み窒息などの恐れがあります。



注意



- 不安定な場所で使用しないでください。落下によるけがや製品の破損の原因になります。
- 水のかかる所や火気の近くで使わないでください。変色・変形・感電・火災の原因になります。
- 壁や家具の近くで使わないでください。壁や家具の汚れの原因になります。

- 炊飯中に移動しないでください。けがや破損の原因になります。
- 空(食材なし)の状態では運転しないでください。
- 調理中に蓋をあげないでください。



- 移動させる際には、電源プラグを抜いて移動してください。落下によるけがや製品の破損の原因になります。

電源・電源コード使用上の警告



警告



- 電源プラグは根元まで、確実に差し込んでください。
発煙・発火・火災の原因になります。



- 電源コードを取り扱う際は次の点をお守りください。
 - ・折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
 - ・つけ根の部分を無理に曲げない
 - ・重いものを載せない
 - ・布などでくるまない
 - ・屋外で使用しない
 - ・水などの液体がかかる場所で使用しない。発煙・発火・火災・感電の原因になります。



- 破損した電源コードは使用しないでください。
電源コードが破損した場合、テープなどで修復して使用しないでください。修復した部分が加熱し、火災や感電の原因になります。



- 定格電圧以外で使用しないでください。
- タコ足配線にしないでください。
電源コードをタコ足配線にするとコンセントが加熱し、火災の原因になります。



- 長期間使用しないときは電源コードを抜いてください。
(内釜を取り出しただけでは、電源は切れません)



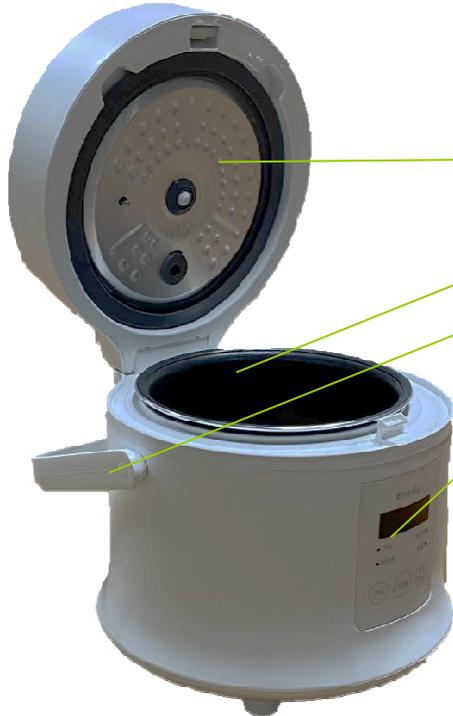
- 電源コードのプラグにほこりがたまったままの状態では本機を使用しないでください。定期的にほこりを取り除いてください。
火災の原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
ぬれた手で触ると、感電の原因になります。

2.外観説明

外観と仕様



<各部名称>

- ①：外蓋
- ②：内蓋（取り外し可能）
- ③：ハンドル
- ④：本体操作パネル

<付属品>

- ・内釜
- ・しゃもじ
- ・計量カップ
- ・電源コード
- ・取り扱い説明書（保証書付き）

【製品仕様】

最大炊飯量	0.54L（3.0合）		
機能	4モード（炊飯、早炊き、おかゆ、再保温）		
最大消費電力	420W		
保温温度	80℃以下		
炊飯時間	白米		55分
	おかゆ		90分
	早炊き	1合	24分
		2合	30分
3合		35分	
予約時間設定	30分～12時間の間で30分ごとに設定可能		
本体サイズ（mm）	（幅）215×（奥）220×（高）205		
本体重量（kg）	1.9kg		
付属品	しゃもじ、軽量カップ、電源コード、 取扱説明書（保証書付き）		

<家庭用品品質表示法に基づく表示>

最大炊飯量	0.54
区分名	E
蒸発水量（g）	30.0
年間消費電力（kWh）	61.0
一回あたりの炊飯時消費電力量（Wh）	167.0
一時間あたりの保温時消費電力量（Wh）	18.0
一時間あたりのタイマー予約時消費電力量（Wh）	0.45
一時間あたりの待機時消費電力量（Wh）	0.4

3.使い方

お米の計量について

- 炊飯器を開けて、内鍋での目盛を確認してください。
目盛は「白米」、「おかゆ」を炊飯する時の水を入れたときの分量になります。

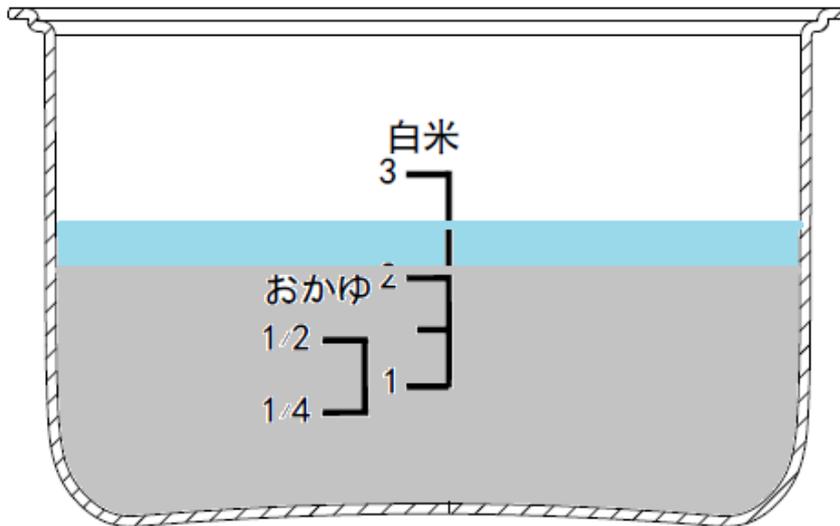
注意：炊飯量について（お米水分量について）

- ・白米：1～3合まで（お米：水＝1：1.1～1.2）
- ・おかゆ：0.25（1/4）～0.5（1/2）合まで（お米：水＝1：5）

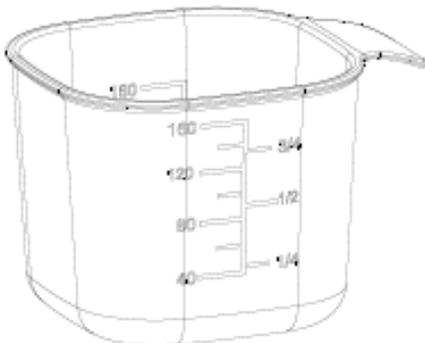
- お米を計る計量カップは1カップ180gになります。

注意：お米を計る時は必ず付属品の計量カップをご使用ください。

参考：下記の図は「白米」を2.5合炊飯するときの水分量と目盛の位置関係を示したものです。



- 米を研ぐ時はなるべく、内釜以外の容器を使用してください。
内釜で研ぐと内釜に傷がついたり、コーティング剥れ、内釜変形などの原因になります。
- 研いだお米を内釜に移して目盛にあわせて水を入れてください、
出来上がりの硬さについて自分で好みで水分を調整してください、
- 研いだお米を内釜に移して目盛にあわせて水の分量を入れてください。（水を入れたら、お米を平らにしてください。）



- 付属品の計量カップの仕様は図のとおりです。
炊飯時は目盛をみて容量を確認してください。

*：1合分のお米の容量は約180gです。付属の計量カップですり切り1杯分となります。

ご使用する前の準備

■電源をいれるまでの手順：

内釜の外部を乾いた布巾で、水分をよく拭いてから本体にセットしてください。(特に底面に水滴や異物が付いて無いか確認して、取り除いてください。)

注意：電源をいれるまでの手順が終わる前に電源プラグはコンセントに差し込まないでください。

(内釜を取り出しただけでは、電源は切れません)

■電源プラグの接続

- ① 電源コードの電源プラグ部をコンセントに差し込むと、「ピッ」と通電完了の音になります。
- ② 操作パネルの液晶部に「- - - -」が表示され、各操作設定ボタンが点灯します。

注意：操作を終了し電源を切る場合は、安全のために電源プラグを抜くことをおすすめいたします。

注意：停電や瞬断でも、設定がリセットされ炊飯がうまく炊けないので、最初からやりなおしてください。

■内釜の取り外し/取り付け方法

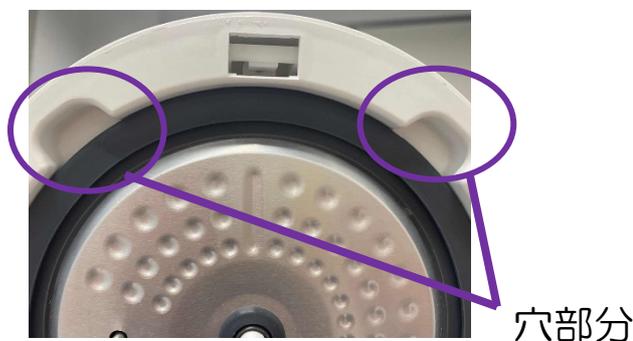
【取り外しについて】

内釜の上部にある2箇所の穴部分に指を入れてパッキンを手前に引いてください。



【取り付けについて】

内釜の上部にある2箇所の穴部分に指を入れてパッキンがピタっとはまるまで入れ込んでください。



メニュー選択

予約タイマー設定ボタン

「予約ボタン」を押下し時間を設定することができます

炊飯ボタン

ボタンを押下すると「炊飯」→「おかゆ」→「早炊き」の順にLEDランプが切り替わります。



保温/取消ボタン

炊飯完了後に電源を切った場合などに再度保温をする場合に使います。

また各種炊飯機能などを取り消しする場合には「取り消し（キャンセル）ボタン」としてご利用できます。

各種機能概要

機能	基本調理時間	保温設定		
		稼働時間	予約タイマー設定時間	単位
炊飯	55分	12時間まで	30分～12時間	30分
おかゆ	1時間30分	12時間まで	30分～12時間	30分
早炊き	1合 24分 2合 30分 3合 35分	12時間まで	30分～12時間	30分

調理の準備

- 付属の計量カップをご使用ください。
- 内釜にキズや破損を防ぐために、お米は別容器で研いってください。
- 研いだお米を内釜に移してメモリにあわせて水の分量を入れてください。(水を入れたら、お米を平らにしてください。)
- 内釜を本体にいれてください。内釜の底面や回りに水分や異物が付いていないか確認してください。
- フタをしめて電源プラグを差し込んでください。

炊飯

【使い方】

- ①内釜の目盛にあわせて適量の水をいれてください。
- ②『炊飯』ボタンを押して、「白米」LEDランプを選択ください。
- ③「白米」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

おかゆ

【使い方】

- ①内釜の目盛を参考にお好みの水量をいれてください。
- ②『炊飯』ボタンを押して、「おかゆ」LEDランプを選択ください。
- ③「おかゆ」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

早炊き

【使い方】

- ①内釜の目盛を参考にお好みの水量をいれてください。
- ②『炊飯』ボタンを押して、「早炊き」LEDランプを選択ください。
- ③「早炊き」LEDが点灯して、約5秒後に調理が開始されます。

保温について

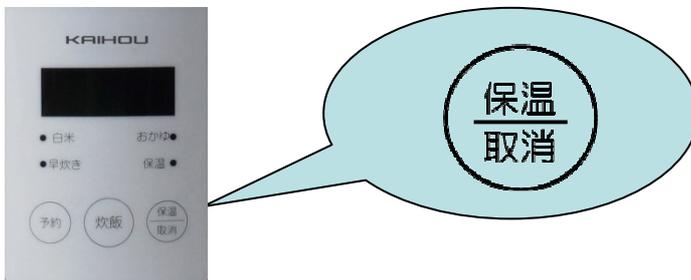
■炊飯完了後の再保温時にご利用できます。

保温稼働時間：最大12時間です。

補足：本機は各調理モード完了時に自動的に保温モードに移行しますが、「取消」ボタンを押したり、電源ケーブルを抜いた場合には保温モードを停止します。一旦停止した保温モードを再開する場合、本機能をご利用いただくことができます。

【使い方】

『保温』ボタンを選択して押してください。操作パネルの「保温」のLEDランプが点灯し、自動的に保温モードに移行します。



■保温モードに移行すると液晶パネルの表示が「bb」⇔「x:xx」のように「bb」（保温稼働表示）と「x:xx」保温稼働カウントアップ時間を交互に表示します。

■取消ボタンを押下するとランプ消灯後に再保温機能を停止します。

■保温可能な最大時間である12時間を超えると機能を停止します。

注意：保温機能使用時は約80℃での加熱をすることで、調理した食材の水分の蒸発による乾燥や変色等が促進します。

また食材の風味以外にも、品質の劣化や予期せぬ雑菌等の繁殖などによる影響も考えられます。

調理後はできるだけ早くお召し上がりいただきますように、お願いいたします。

警告：ご使用上におきまして本機の材質以外について、以下に起因する事案での保証はいたしかねます。

- お客様のご利用・設置環境に依存するもの
- 日常のメンテナンス不備によるもの
- 調理方法および食材に依存するもの
- 本機の有する機能であっても、過度な使い方に起因する問題について

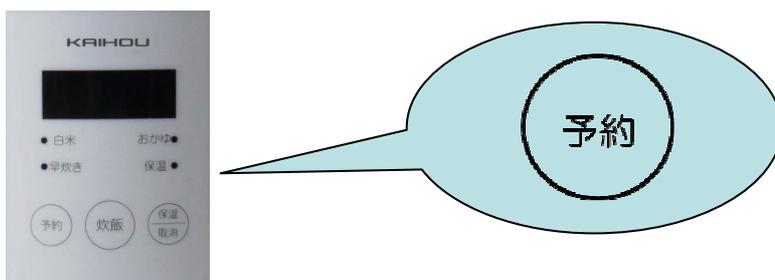
タイマー予約機能について

■各種調理開始時間の予約をする場合にご利用できます。

タイマー予約可能時間：12時間（30分毎に設定が可能）

【使い方】

①『予約』ボタンを選択して押してください。



②『予約』ボタンを一回押すごとに30分単位で予約時間が延長されます。12：00（12時間）まで到達して再度予約ボタンを押すと00：30に戻ります。

注意：「予約」ボタンを押下してから、なにもしないで5秒を経過すると、設定中の機能は中断され、元の電源起動状態に戻ってしまいます。

③「炊飯」ボタンでこれから利用する調理モードを選べば、操作はこれで終了です。あとは自動的に設定したタイマーの時間が表示され、予約設定時間のカウントダウンが始まります。

各種調理モードの設定や操作方法については、各調理モードの「使い方」（9～10ページ）をご参照ください。

補足：本機はタイマー設定時間を経過してから選択された調理を開始します。

■取消ボタンを押下するとランプ消灯後に予約時間および選択した調理機能も停止します。

4.メンテナンス

ご使用後のお手入れと定期的なメンテナンスをお願いします。

お手入れのしかた

注意！ お手入れの際は電源プラグを抜き、本体が冷えてから行う



・表面を傷付ける原因になりますので台所用合成洗剤以外（シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤等）は使用しないでください。

・表面を傷付ける原因になりますのでスポンジ以外（たわし、ナイロンたわし）は使用しないでください。

・変形、変色の原因になりますので食器乾燥機や食器洗浄機などの使用しないでください。

・変形の原因になりますのでしゃもじ、スチームキャップを熱湯に浸さないでください。

お手入れの仕方

【使うたびに洗うもの】

内釜、計量カップ、内ぶた、しゃもじ、背面つゆうけ

①水またはぬるま湯で、スポンジ等で洗ってください。

②乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

注意：内釜に食器などを入れ、洗いおけとして使わないでください。また乾燥する時は重ね置き等をしないでください。内釜の傷つきや表面がはがれたりする原因になります。

【汚れるたびにお手入れする箇所】

●本体の外装および内側の汚れは、かたくしぼった布で拭き取ってください。

●内側ヒーター部に焦げ付いた米粒などがついていている場合は取り除いてください。

注意：本体内部には、絶対に水が入らないようにしてください。故障や誤動作の原因になります。

使うたびに洗うもの

■内ふた



- ①本体から内ふたを取り外します。
(内ふたの詳しい取り外し方はP7に記載しております)
- ②ふたについている汚れや詰まりを洗い流してください。

■内釜



内釜を取り出すときは両側をしっかりと持って引き上げてください。片側だけもって引き上げると本体に引っかかり取り出しにくくなります。



- 米粒が固くなって落ちない場合は水に浸してしばらく置いてください。
- 内釜を本体から取り出して食器用洗剤を使いスポンジで洗ってください。
- 内側のフッ素素材を傷めないために次のことを守ってください。
 - 酢を使用しない
 - 食器を中に入れて洗わない
 - みがき粉や金たわしを使用しない

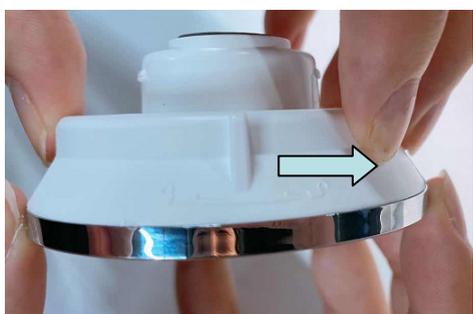
汚れるたびにお手入れする場所

■ スチームキャップ



【外し方】

① 本体からスチームキャップを外します。



② スチームキャップ本体とキャップカバーを分解してください。
※スチームキャップカバー（下）をもって、本体正面から右方向にねじるとカバーとキャップ本体が外れます。



スチームキャップ本体 スチームキャップカバー

※：本体とカバーの汚れや詰まりを洗い流してください。



【取り付け方】

① スチームキャップ本体とキャップカバーの溝をあわせて、本体正面からみて左側にねじります。

② フタとスチームキャップの溝をあわせて奥まで押し込みます。

みぞ



5.故障かな?と思ったら

本体について

状態	確認事項
樹脂やゴムのにおいがする	新しいものですと樹脂やゴムのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
フタが閉まらない、炊飯中にフタが開く	内フタ付近にご飯粒、米粒などが付着している可能性があります。
操作パネルのキーが反応しない	電源プラグがささってない可能性があります。
炊飯が開始しない	電源プラグがささってない可能性があります。
炊飯すると内フタに水滴がたまる	内フタにとどまることがあります。その際は布巾できれいに拭き取ってください。

お米の炊きあがりについて

ごはんの状態	確認事項
やわらかい（べたつく）	お米や水は、正確にはかりましたか？
	割れ米が多く混ざっていませんか？
	長時間水に浸していませんか？ 長時間の予約炊飯などのときは、水を少なめにしてください。
	お米をお湯で研いでいませんか？
	炊きあがった後あと、すぐにほぐしましたか？
	洗米後にざるに上げ、お米にひびが入っていませんか？
	かためのごはんがお好みですか？水を少なめにしてください。
かたい（芯がある）	お米や水は、正確にはかりましたか？
	お米の種類（銘柄や産地など）保存状態により、炊きあがり異なります。
	内釜を本体にセットしたときかたむいていませんか？
	水平な場所で水位を合わせましたか？ お米の量が多い、水の量が少ないとかたくなります。
焦げる	精米や洗米は、充分おこなっていますか？
	熱板センサーや内釜底に汚れや異物は付着していませんか？
	調味料を入れて炊いていませんか？
	割れ米が多く混ざっていませんか？
乾燥する	水蒸気ガイドを正しく装着してフタを閉めましたか？
	水蒸気ガイド、内釜、熱板センサー、内釜底などに汚れや異物は付着していませんか？
	長時間保温をしていませんか？

保証書

本保証書は製品本体に対してご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本保証書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。

修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）、などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- 本規定の変更

当社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本保証書の提供条件は変更後の規定によるものとします。なお、変更後の規定については、当社ホームページにより通知するものとします。

ご購入日	西暦	年	月	日
お客様名				
保証期間	ご購入日より	1年間	S/N	
機種名	KH-SK500			
ご購入販売店、住所、電話番号				

株式会社 カイハウジャパン
〒192-0903 東京都八王子市万町 10-1
TEL : 042-686-3645 (サポートセンター)
受付時間：月～金曜日（祝祭日除く）10時～17時